

診療科の概要

当科は成人の心臓大血管疾患・末梢動静疾患の診療にあたっています。救命救急センターを標榜する病院の心臓血管外科であるため、急性大動脈解離、急性冠疾患、大動脈破裂、急性上肢・下肢動脈閉塞などは緊急手術を行います。2025年4月より診療体制が変わり医師の交代もありましたが医療の質を保てるように、安心・安全に重きを置いて全力で取り組んでいます。どの疾患においても、患者さん個人個人に合った治療方法を選択し、ステントグラフトやカテーテル治療などの低侵襲治療も積極的に取り入れていきたいと考えています。一方で大きな手術をしなくてはいけない場合も、可能な限り安全な手法で行います。

対象疾患

成人心疾患：虚血性心疾患、弁膜症、肺動脈血栓症

成人大血管：急性大動脈解離、胸部大動脈瘤、
腹部大動脈瘤

抹消血管：抹消動脈疾患、静脈瘤などの静脈疾患、
静脈血栓症

その他：不整脈手術

医師紹介

医師名	専門分野/認定・専門等
ついつい 筒井 真博 部長	外科専門医 心臓血管外科専門医 日本血管外科学会評議員 循環器専門医 脈管専門医 胸部大動脈ステントグラフト指導医 腹部大動脈ステントグラフト指導医 下肢静脈瘤に対する血管内治療実施基準による実施医
いしどう 石堂 耕平 医師	専門分野 ：心臓・大血管分野 外科専門医
しみず 清水 要 医師	専門分野 ：心臓外科 日本外科学会 日本胸部外科学会 日本心臓血管外科学会 日本血管外科学会

診療時間

(初診8:00~11:30)

月	火	水	木	金
休診	筒井	休診	石堂	清水

診療部長よりひとこと

医療の進歩とともに心臓血管外科手術の成績は向上しており、昔ほどの心臓の手術は命懸けという面は少なくなったと思いますが、やはりそれでもイメージ通り人生の大きなイベントとなります。そのようなイベントを安心して乗り越えられるように私達が安全に治療を行わせて頂きます。本年度より診療体制の変更により診療を担当する医師が大きく入れ替わりましたが、いずれもしっかり修練された経験豊富な医師ですのでご安心ください。全力で治療にあたらせて頂きます。

診療実績 2024年（1月～12月）

項目	患者数
外来新患者数	234
外来延数	3,595
新入院数	288

手術実績 2024年（1月～12月）

項目	件数
ステントグラフト挿入術	
ステントグラフト内挿術（腹部大動脈）	41
ステントグラフト内挿術（胸部大動脈）	17
ステントグラフト内挿術（腸骨動脈）	8
ステントグラフト内挿術（シャント）	2
大動脈瘤手術・開心術	
大動脈瘤切除術（上行大動脈・腹部大動脈他）	7
冠動脈バイパス移植術	2
弁置換術	2
心膜切開術	2
開胸心臓マッサージ	1

糖尿病・
内分泌内科

呼吸器
内科

消化器
内科

循環器
内科

腎臓内科

血液・腫瘍
内科

脳神経
内科

総合
診療科

外科

呼吸器
外科

脳神経
外科

整形外科

形成外科

心臓血管
外科

泌尿器科

耳鼻
咽喉科

小児科

皮膚科

眼科

産婦人科

歯科口腔
外科

放射線科

病理
診断科

麻酔科
救急科

手術実績 2024年（1月～12月）

項目	件数
血管手術	
経皮的シャント拡張術・血栓除去術	141
四肢の血管拡張術	72
内シャント血栓除去術	45
動脈血栓除去術（その他）（観血的）	13
末梢動静脈瘻造設術（内シャント造設術）	13
血管移植術（その他の動脈）	11
バイパス移植術	10
動脈形成術	9
下肢静脈瘤手術（硬化療法）	9
下大静脈フィルター留置術	8
下大静脈フィルター除去術	7
下肢静脈瘤血管内焼灼術	6
動脈血栓内膜摘出術（その他）	4
血管結紮術（その他）	4
上腕動脈表在化法	4
腎血管性高血圧症手術（経皮的腎血管拡張術）	3
血管塞栓術	2
経皮的血管内異物除去術	2
経皮的下肢動脈形成術	1
その他	
大動脈バルーンパンピング法	10
創傷処理	8
人工心肺（初日）	6
経皮的心肺補助法（2日目以降）	4
体外ペースメーカー術	1
胸水・腹水濾過濃縮再静注法	1
合計	475



写真左より、清水医師、筒井医師、石堂医師